

## 留学生活について

中部学院大学人間福祉学科四年生のゴカイテキです。時間がすごく早いもので、2016年4月に来日して、四年が経過しました。今までに日本の学生生活で感じたことを書くことにします。

高校二年生の時に、英語の代わりに日本語を選んで日本語を学習する少人数の特別授業を受けました。中部学院大学と私の高校は姉妹学校で、また中国でよく日本のアニメとドラマを見て、日本の文化や習慣にも興味を持っているから、日本の独特な文化や習慣をもっと知って、日本で実際に生活したいという目標を持って、入学試験と面接を応募しました。

大学生になってから学業に専念し、普段は週末にアルバイトで生活費を稼ぎ、色んな活動にも参加し、体験している私は日々充実した生活を過ごしました。確かに最初の両親と離れて、言葉が通じない異国に来て、生活面も自力で面倒を見なければならぬし、何が起っても自分で決定するしかありません。ですが、振り返ってみると今の私は、本当に初めて日本に来たときよりも成長したと感じました。

以前の私は人とのコミュニケーションをとることがとても下手でした。慣れたことをしたり、慣れた人と付き合ったりすることが一番良いと思っていました。特に人の前で発言するなんか怖くて、初対面の人との会話が嫌でした。日本での数年間、私は何度も自分を変えようと試みてきました。弁論大会に参加したこともあり、また各種の国際交流活動もあり、自分の度胸をよく鍛えました。特に今年4月からロータリー米山奨学生になって、世界各地から来る留学生たちやロータリー会員たちと交流することができて、例会で社会の目の上の社長と一緒に食事したり、声をかけてくれたりと本当に嬉しかったです。日本で学生生活を体験し、特に今年ロータリー米山奨学生になって、私の人生は豊かになりました。私にとって大きな財産だと思います。これからもロータリー米山奨学生となって得た経験を生かして、挑戦する心と奉仕の精神を忘れずに頑張っていきたいと思っています。